

『サイバーマニュアル活用による人材育成』

10月1日教育研究会が開催された。情報通信サービスの設計施工企業(株)三技協のサイバーマニュアルを活用した人材育成の取り組みについてご指導いただいた。

業務の見える化による経営の最適化

前半、同社の代表取締役社長・仙石通泰様より自社で開発した「サイバーマニュアル」の説明とその活用による「経営の最適化」について経営者の立場からお話があった。業務のノウハウをウェブ上に文書化し、社員全員が閲覧可能にすることで業務が効率化し、人事総務部門の廃止、仕事のミスの減少、コミュニケーションが良くなるなど社員の意識改革が図られた。その結果、赤字体質から脱却し6年で営業利益が3.5倍までに至り業績を伸ばしている。参加者には、説明に使用したDVDと仙石様の著書が提供された。

1行報告の定着と意識改革

後半、ビジネスパートナー丸山祐子様から人材育成の実践経験のご発表があった。同社の求める人材



像「目的意識を持って行動できる社員」の育成を目指し「業務の見える化」を図り、毎日の業務を1行報告するなどマニュアルへの書き込みを推進した。当初、社員からは自分のノウハウを人に見せたくないとか、報告の煩わしさなどやらされ感があった。情報が蓄積されサイバーマニュアルから自分のほしい情報がいつでも入手でき、自分の仕事へのメリットがあがることにより、このシステムが業務になくてはならない存在となった。社員がどんどん情報をアップするようになり社員の問題意識も向上し効果を上げている。